

## 別紙

### 温室効果ガス削減実施状況報告書

#### 1 事業の概要

##### (1) 事業所の名称

中国電力株式会社 大崎発電所

##### (2) 事業所の所在地

広島県豊田郡大崎上島町中野6208-1

##### (3) 業種

電気業(331) 一発電所(3311)

#### 2 計画の期間

本計画の期間は、2016年度を基準年度とし、2017年度から2020年度までの4年間とする。

### 3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO<sub>2</sub>)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量(a)	目標年度 上段：見込量(b) 下段：削減率(c)	計画期間の実績 (上段：実排出量(d)，下段：削減量の対基準年度比(e))				
			2016年度	2020年度	2017年度	2018年度	2019年度
エネルギー 起源CO <sub>2</sub>	9,360	8,976 4.1	8,390 10.4	7,143 23.7	8,009 14.4	7,709 17.6	
非エネルギー 起源CO <sub>2</sub>							
メタン							
一酸化二窒素							
その他 温室効果ガス							
温室効果ガス 実排出量総計	9,360	8,976 4.1	8,390 10.4	7,143 23.7	8,009 14.4	7,709 17.6	
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価	・隣接の大崎クールジェン株式会社に対する補助蒸気，石炭供給に伴う所内電力量 および所内ボイラ稼働状況の変動によるもの						

※ 削減率(c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

※ 2016年度～2019年度のCO<sub>2</sub>排出量について，算定方法見直しのため修正実施

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： みなし送炭量 (千 t)

温室効果ガスの種類	基準年度の実績(a)	目標年度 上段：目標(b) 下段：削減率(c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d), 下段：削減量の対基準年度比(e))					
			2016年度	2020年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
エネルギー 起源CO <sub>2</sub>								
非エネルギー 起源CO <sub>2</sub>								
メタン								
一酸化二窒素								
その他 温室効果ガス								
温室効果ガス 総排出量								
エネルギー消費原 単位 (原油換算kl)	1.67	-	1.57	1.579	1.627	1.736		
		-	6.0	5.4	2.6	▲4.0		
実績に対する 自己評価								

※ 削減率(c) = ((b) - (a)) / (a) × 100      削減量の対基準年度比(e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

#### 4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

##### ○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	電気使用量の把握	・数値目標の設定なし (他社との共同使用部分があり、当社単独の使用量が把握できないため)	・不要箇所の間引き照明 ・窓ガラスへの断熱フィルム貼付 ・トイレに自動点灯スイッチ設置 ・昼休み及び残業時間等の不要場所の照明消灯
2			

##### ○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1	なし	
2		
3		

##### ○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	事務用紙使用量の低減	・前年度実績以下	(1) 用紙使用量低減施策 ・コピー機に裏面専用トレイ設置 ・裏面専用トレイでのFAX受信設定 ・通常使用プリンタ設定を裏面用紙に設定する (2) ミスコピー防止対策 ・印刷前のプレビュー画面確認 ・コピー機使用後のリセットボタンの徹底
2	環境保全活動実施率	・実施率：100%	・発電所周辺における海岸清掃の実施（1回/年）
3	社員の環境教育受講率	・受講率：100%	・一般環境教育*（全社員対象）  ※一般環境教育：地球温暖化問題、廃棄物問題など当社を取り巻く環境問題の動向や中国電力グループ環境行動計画の取組状況、環境管理に係る体制や手順などに関する教育

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。